



地域の防災力を向上させたい

全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体Team7043

かわべ防災の会

平岡 守

3.11でアマチュア無線が活躍

- ▶ 東日本大震災では、ライフラインに壊滅的な被害
- ▶ 乾電池やバッテリーで駆動する無線機が活躍
(携帯電話が使えない、防災無線もNGであった)

総務省ホームページに掲載

平成23年（2011年）3月11日に発生した東日本大震災では、多数のアマチュア局が、地方自治体に協力するなどして、被害情報の収集や安否情報の伝達等、人命の救助や災害の救援等のための非常通信を実施し、社会的に大きな貢献をしました。

2016年4月 熊本地震



- ▶ 本震の翌日、熊本市内のアマチュア無線家から、「水が手に入らない、給水車も来ない」と連絡あり
- ▶ 全国の無線仲間呼びかけて、各地から水を送ってもらった
- ▶ 日本全国の無線仲間の力で、無事に熊本市内まで水を届けた
- ▶ 1か月間、熊本市内の無線家と毎日21時に定時交信を行った

WIRES-X
ファイル(F) 表示(V) 接続(C) ツール(T) ヘルプ(H)

Room EMG-ROOM(29999) member 62 nodes

| | | | | | | | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|
| JP3ULK-MD | GF-JJ2YPA | JQ1ZNW-ND | NR-JL3ZER2 | OS-JS3KKT | JE7ZCU-FS | NR-JA3NCL | TK-JQ1ZNT | ST-JJ1XGJ | ST-JO1BEY |
| GM-JR11GA | JF7SGB-ND | JR7JNX-ND | ANTENA | JG6TXW-ND | NG-JH0CCK | JE7ZCK-ND1 | GM-JP1NNS | JA8ZQT-ND | IT-JP7ELN |
| GF-JA2NID | NG-JA0YCW | CB-JQ1ZOG | NN-NOZAWA | NAKANOJO | TK-JQ1YWA | OS-JG3EBB | GF-JR2KQX | SO-JJ2YOG | WK-JM3LGF |
| JR4CPM-ND | KN-JN11YY | SO-JS2VVH | CB-JQ1YKI | ST-JQ1ZOF | TK-7N3VAE | ME-JJ2YNE | PND-JL1USZ | JH1TWC-ND | 7N1PFW-ND |
| SO-JJ2YNF | TG-JA1KMZ | IS-JH9TJT | GM-7M2VYN | TK-JL8VGC | ST-JJ1RAF | ST-JQ1ZPZ | KN-JM1FWS | JQ1ZMV-ND1 | DU1CKF-ND |
| HOTVOICE | JR1LNM | HK-JR8YNS | EH-JH5HOA | GM-JH11CS | AMING | JG1CZL-ND | JF10MI-HWI | FI-JE9MBV | HS-JR4IUS |
| KN-7M1VGP | JR6HKE/MND | | | | | | | | |

岐阜県加茂郡川辺町

- ▶ 人口10,303人（世帯数：3,876世帯）平成31年1月1日現在
- ▶ 名古屋から電車で約80分
- ▶ 過去50年ほど大きな災害無し（昭和43年以降災害無し）
- ▶ 昨年の7月豪雨でも大きな被害は無し
近隣の関市、下呂市では大変大きな被害が発生
（死者1名）



50年前の災害（昭和43年8月17日）

- 『8.17豪雨』 川辺町の北部にて土砂災害
- 近隣の白川町では観光バスが山からの土砂に押し流されて飛騨川に転落、104名の方の命を奪う
（観光バスの事故では最悪の事故）





我が町の防災力は低下傾向

- 若い人の町外への流出
- 隣人とのつながりの希薄化
- 外国人の増加
- アパートやマンションの増加
- 空き家の増加
- 町内会未加入
- 地域の行事への不参加



防災リーダー養成講座

- ▶ 2014年～2015年に、川辺町主催にて
防災リーダー養成講座を実施
町内の企業、防災に関心のある住民が受講、
約60名が防災士の資格を取得



予期せぬ展開が待っていた。

- ▶ この講座で奇跡的な出会いが！
川辺町役場の防災担当と出会う
彼は町内のアマチュア無線家を探していた

川辺町地域防災計画に明記

災害予防編 第4節 ライフライン整備計画

【代替機能の確保】

町は、災害によってライフラインの機能に支障が生じた場合に備え、井戸・耐震性貯水槽、自家発電装置、プロパンガス、仮設トイレ、**アマチュア無線**、タクシー無線、インターネット、新エネルギーシステム等の代替機能の確保に努めます。

川辺町役場屋上にアンテナ常設 総務課フロアーカウンターに無線機常設





かわべ防災の会発足

- ▶ 防災リーダー養成講座の第一期・第二期受講者が集まり、今後について話し合う
- ▶ 約30名で「かわべ防災の会」を発足
- ▶ やる気は十分、**ただしお金はない**



かわべ防災の会の立ち位置

かわべ防災の会

**自分たちが出来ることを
協働**

川辺町役場

川辺町社会
福祉協議会

中学校での防災授業にて

- ➡ 50年前の8.17豪雨を知る生徒は
クラスで1人だけ



我が町の災害の記録を残し伝えよう

- ▶ 川辺町役場において昭和43年の8.17豪雨の記録を探すことからスタート

役場の書庫に段ボールにまとめられた大量の白黒写真を発見。
一部はすでに色抜けが始まっていた→**すぐに電子化を実施**

その他、町の広報誌や、紙ベースの記録が多数出てきた

- ・復旧に使用した麻袋の数量
- ・復旧の作業者に用意したおにぎりの数量

貴重な当時の中学生の作文

八、一七集中豪雨

中部中二年
村瀬幸子

八、一七集中豪雨

今から考えると夢のようです。

水の力の恐しさ、一瞬の間に家がこわれ流され、あんな恐ろしい事は、一生忘れる事は出来ません。

夜中に母が、

「ものすごい水が出て、前の家が流されたよ。」と、言われたので、私は、びつくりして目をさました。

ものすごい夕立と共に雨

不気味な音、どろ水のおい。

水は、もう家の前までおしよせている父が

「あぶないから外に出てはいかんよ。」と言つて出て行つた。私は、

「おとうちゃん、大じようぶやるか。」と、妹と母にくつついていた。

母は、

「おとうちゃんは、家を見守つて下さるのやで大じようぶ。みんな、服に着がえなさい。」と、言われた。

ますます、雨は、降るばかり

まもなく、「メキメキ、ガチャン。」とものすごい音がした。何かと思い、外を見ると、鉄きんの小屋が、押しつぶされていた。

私達は、天の神に祈るばかりで、夜の明けのを待つた。父は、あくまでも外を見守り続けていた。

一家の主人、さすがに父がりつばだと思つた。

「天災は、忘れた頃にやってくる。」と言ひ昔のことわざがありますが、もう二度とこんなことがくりかえさないことを心から願いたい。このことは、私達の一生の思い出となることでしよう。



再び、予期せぬ展開

- ▶ **なんと、この作文を書いたのは、
川辺町社会福祉協議会
加藤幸子事務局長ご本人**



岐阜県の全域で災害の記録を残そう

■ 岐阜大学流域圏科学研究センター

流域情報研究部門

小山真紀先生に相談

→「岐阜大学では無理です！」

丁度その時期に、東北大学の共同研究の募集期間

「ダメもとで応募してみましよう」

東北大学・岐阜大学共同研究へ

- ▶ 奇跡的に共同研究の審査を通過し、2018年6月から共同研究としてスタート

災害のデータを保存・公開するハードウェアも

東北大学殿にお世話になり、

岐阜県災害アーカイブ

プロジェクトが始動した



地域の防災力を向上させるには この言葉は言わない

- ➡ お金が無いから出来ない
- ➡ 私には関係ない
- ➡ 一緒にやってくれる人がいない
- ➡ 誰かがやってくれるだろう
- ➡ 災害対応は行政が行うこと



自分の町が好きか！

- ➡ 自分の愛する町がいつまでも
安心出来る町でありたい
- ➡ 自分の愛する町で、災害により
不幸な人を作りたくない
- ➡ 自分の愛する町の風景が、
いつまでも変わらないでいてほしい



地域の防災力向上へ

- ▶ 災害を正しく学んで、正しく恐れる
- ▶ 事前に備える
- ▶ 事前につながる（住民同士 町内外）

ひとりでではビッグウェーブは起こせない

- ▶ 人と人のつながり
 - ▶ 人ってすごい
 - ▶ 人がつながれば何でも出来る
- 災害に遭うのも人
復興させるのも人





「話を聞いた」で終わらせない

- ➡ 各人が持ち帰り地域で実践
- ➡ 自分が出来ることを、出来る範囲で実施することからスタート
- ➡ 地域の防災イベントに積極的に参加
- ➡ 防災の講演会、シンポジウムに参加

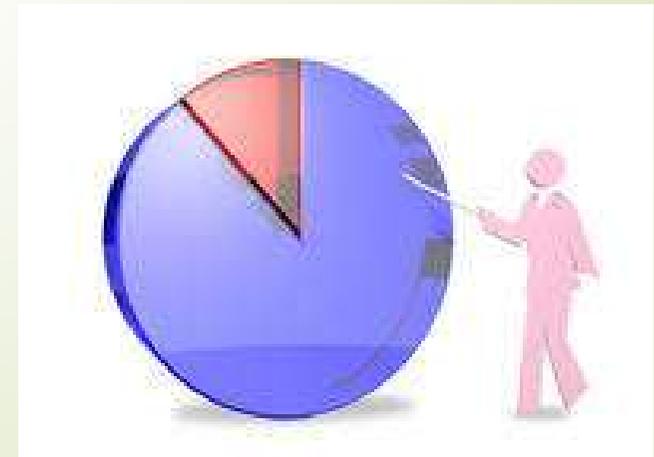
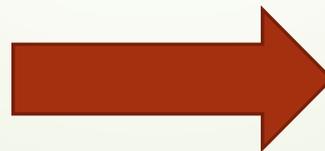
自分の経験から感じること

- やり始めたら応援してくれる人が絶対いる
- 自分が思ったことは、誰かが求めている
- 継続して行動すると、奇跡が生まれる



変人は、やがてスタンダードに

- 現時点：防災・減災 = 変人がやること
- 防災・減災に取り組む人は少数
- 今、子供たちに防災教育が進んでいる
- 近い将来、防災・減災をやらない人が変人になる



これからの活動

- ▶ 小学校、中学校での防災教育
- ▶ 保護者への防災教育
- ▶ 岐阜県内の災害の記録の収集
- ▶ 自分の住んでいる場所の災害記録を使ったワークショップの開発

